

2019. 5. 2

アルケミストの小部屋

令和の猪絵馬と

皐月のそよ風にこいのぼり泳ぐ高砂市の鹿島神社

鹿嶋神社（兵庫県高砂市） [Wikipedia](#)

所在地 兵庫県高砂市阿弥陀町地徳 279

主祭神 武甕槌神・経津主命

創建 伝 奈良時代

例祭 4月16日・10月16日

一願成就・合格祈願の神として信仰されている。拝殿で参り、本殿裏を回って竹の棒を置く、これを年の数だけ繰り返す願掛が行われる。神社ではあるが、香を焚き灯明をあげる風習がある。

参道の両脇には名物のかしわもちの店が並んでいる。平成10年（1998年）にチタンの大鳥居が造られた。

この神社は、社伝によれば奈良時代に播磨国の国分寺が創建された折、その鎮守社として創建されたのに始まるとされる。

1578年（天正6年）に羽柴秀吉が神吉城を攻めるときに、神社周辺でも戦いがあったが、神殿は残ったといわれている。

江戸時代に、地徳地区を開発するにあたって神社の復活が計画され、寛文年間に姫路藩の松平直矩によって現在の祭神で復活した。

元禄時代には本多忠国から境内拡張地を提供し、姫路藩によって崇敬されてきた。













